

# 日本鉄鋼協会記事

## 編集委員会

**第2回和文会誌分科会** 開催日：4月19日。出席者：長島晋一，ほか19名。

1. 30件の論文審査報告がなされ，修正依頼12件，掲載決定18件であった。

2. 「鉄と鋼」第63年第9号（8月号）に論文17件，技術報告1件，特別講演1件掲載決定した。

**第2回欧文会誌分科会** 開催日：4月12日。出席者：中村幹事，ほか6名。

1. 12件の論文につき審査報告がなされ，掲載可4件，照会后掲載可4件，修正依頼3件，および掲載不相当1件であった。

2. 「川崎技報」62号より1件の研究論文につき投稿を勧誘することとなった。

**第1回講演大会分科会** 開催日：4月26日。出席者：郡司主査，ほか16名。

1. 第93回（春季）講演大会の反省を行なった。

2. 第94回（秋季）講演大会に関し，中国四国地区実行委員会の準備状況の報告。

3. 第96回講演大会討論会テーマの選定を行なった。

**第1回編集運営委員会** 開催日：4月19日。出席者：長島委員長，ほか9名。

1. 各分科会の活動報告
2. 新理事の分科会担当を決定
3. 昭和52年度各分科会会議日程の決定。

## 共同研究会

### 製鋼部会

**第66回部会** 開催日：3月3日～4日。出席者：石原部会長，ほか120名。

1. 開催地 新日本製鉄(株)堺製鉄所，(株)中山製鋼所（工場見学のみ）。

2. 研究発表
  - (1) 自由研究 13件
  - (2) 重点テーマ

テーマ「取鍋内における溶鋼処理」  
座長 住友金属工業(株)鹿島製鉄所  
梅田洋一製鋼部長

発表件数 5件

3. 工場見学
 

新日鉄・堺 製鋼工場他  
中山製鋼所 製鋼工場

### 圧延理論部会

**第57回部会** 開催日：3月17日～18日。出席者：岡本部会長，ほか50名。

今回の部会では，圧延潤滑関係5件，板圧延関係4件，形鋼圧延関係4件，その他5件の計18件の研究報告があつた。注目されるものとしてはこのところ2～3回連続して報告されている「有限要素法による圧延の解析」

「孔型圧延特性」および「未凝固圧延」などの研究が挙げられる。

また，部会共同研究のテーマに関するアンケート調査結果が発表され，具体的な計画を進めていくことになった。

工場見学は吾嬭製鋼・仙台製造所の線材工場を中心に行なつた。

## 鉄鋼分析部会

**第49回化学分析分科会** 開催日：3月8日。出席者：岸高主査，ほか43名。

JIS 原案 (Mn, Cr, Cu) 及び JIS 案文 (Si, V, Co, As, Sn, Pb, Sb) と，解説 (Ti) について審議した。

これらについての意見を後日提出して頂き化分全体の意見として反映させることとした。

今後の検討方針として，S, C, Al, Si, B, N, P, Pb, Ca, Ti などの微量定量法の検討を進めることとした。

これらの分析方法が確立された時には日本鉄鋼協会法として決定していく予定である。

**第47回鋼中非金属介在物分析分科会** 開催日：2月22日。出席者：成田主査，ほか14名。

1. 鋼中炭化物抽出分離定量法（マニュアル）の作成。
2. 炭化物抽出分離定量用標準試料の作成
3. 窒化物抽出分離法についての共同実験。
4. 自発研究発表

## 鉄鋼基礎共同研究会

### 特殊精錬部会

**第9回第5分科会** 開催日：3月14日。出席者：小林主査，ほか12名。

1. ESRシンポジウムの件

9月14日に開催されるESRシンポジウムでの発表予定について審議し，当分科会からは「ESRの冶金反応」（中野，桑名）と「エレクトロスラグ溶接現象」（仲田，渡辺）の2件を発表することとした。

2. 委員発表

次の2件の研究発表が行なわれ活発に討論された。

○エレクトロスラグ溶接金属の凝固組織の一考察（IHI・赤根委員）

○ESRとESWとの比較-化学成分の挙動について-（神鋼・渡辺）

3. その他

Doc IIWX I-J-54-76 に対する日本側の回答について中野委員から説明があつた。

**第11回第6分科会** 開催日：3月29日。出席者：成田主査，ほか9名。

1. 特殊精錬法文献集の発刊に至るまでの経過について報告された。（英文579件，邦文195件，計774件集録）